

イベントのご案内

スポーツ先端科学研究拠点・身体運動科学研究室共催 公開シンポジウム

『Sciences for Human performance』

東京大学スポーツ先端科学研究拠点と身体運動科学研究室は、スポーツや日常生活におけるヒューマン・パフォーマンスの理解を目指したシンポジウムを開催いたします。

シンポジウム1では、『ヒューマン・パフォーマンスの基礎とサポート ―若手研究者による最新研究から―』をテーマとして、東京大学にて学位取得後、スポーツ・身体運動の研究分野で研究者として活躍する若手OB・OGによる研究知見を分野横断的に紹介します。ヒューマン・パフォーマンスに関わる研究について俯瞰的に知ることのできる内容となっております。

シンポジウム2では、『モータースポーツから考えるヒューマン・パフォーマンス ―運転技術とは?―』をテーマとして、議論を行います。昨今、運転の自動化の話題が隆盛です。しかしながら、通常の人操作による運転についても、運転技術の構成要素やドライバーに求められる技能について、不明な点が多いのが現状です。そこで、各種技術の粋が集まるモータースポーツを題材に、運転技術について考えます。世界最高の女性レーシングドライバーである井原慶子氏、認知科学分野の研究者である工藤和俊氏、工学分野の研究者である中野公彦氏の3名にて、運転技術の構成要素やドライバーに求められる技能などについて多面的に議論を行います。

大学・研究関係の皆様はもちろんのこと、五月祭にお越し予定の皆様方におかれましても、お気軽にお立ち寄りください。

記

- ・日 時：5月19日（土）午前9時～11時45分（8時30分受付開始）
- ・場 所：東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター地下2階 伊藤謝恩ホール
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/hall.html>

- ・申 込：不要
- ・参加費：無料
- ・プログラム：

8:30～ 9:00 受付

9:00～10:20 シンポジウム1（第26回身体運動科学シンポジウム）

『ヒューマン・パフォーマンスの基礎とサポート ―若手研究者による最新研究から―』

1. 佐々木 一茂（日本女子大学家政学部 准教授）

応用科学としてのヒト骨格筋研究

2. 稲葉 優希 (ハイパフォーマンスセンター・国立スポーツ科学センター
スポーツ科学部・機能強化ユニット 研究員)
エリートアスリートのサポートにおけるスポーツ科学と研究
3. 高橋 祐美子 (東京大学大学院総合文化研究科・身体運動科学 助教)
運動後の骨格筋グリコーゲン回復促進 - 『刀』は一つではない? -
4. 古田島 浩子 (公益財団法人東京都医学総合研究所 精神行動医学研分
野 依存性薬物プロジェクト 研究員)
心拍制御の研究から精神疾患研究まで 一心の解明を目指して一

10:20~10:30 休憩

10:30~11:45 シンポジウム2

『モータースポーツから考えるヒューマン・パフォーマンス ー運転技術とは?ー』

1. 井原 慶子 (レーシングドライバー、FIA 国際自動車連盟アジア代表委員)
安全運転のためのドライバーの生体情報に基づく集中力と感情のコントロール
2. 工藤 和俊 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府 准教授)
ドライビングの知覚と行為
3. 中野 公彦 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府 准教授)
ドライバの表面筋電図による車両運動性能の評価

以上